

人 ピープル



大室公園まつりで感謝状贈呈
木村 智英さん(63) 西大室町

十二日に開催される大室公園まつりで、樹齢百年以上というツツジの記念植樹が行われる(4 に関連記

ツツジを育てる伝統いつまでも

事。その木は、西大室町にある伊勢山古墳一帯に植えられていた物。これを、先祖代々守り育ててきた地域

住民の代表で、樹木の寄付に対し感謝状が贈られることになった。
「昔から古墳の辺りは、地域に住む人たちの憩いの場になっていたんです。お祭りの時には、舞台も造られ芝居一座が公演したり、相撲大会をやったりしました。だから、みんなで年一回、雑木の枝打ちをして下草を刈るなど、手をかけてきたんですよ。古墳の形から地元では「二子様」と呼んでいますね」
古墳周辺にあるツツジは、明治時代のころ、近くの里山や各家庭の庭に自生していた木を集めて植えられたらしい。今では、大小合わせて四百本以上にもなっていた。
「市制施行百十周年の記念に、三分の一ほどのツツジを大室公園へ寄付することにしました。同じ町内に

残るのだし、多くの人たちに美しい花を見てもらえるのだから。地区の皆さんが同意してくれたのも、そうした願いからだと思えます」
植樹には大室小の全校児童も参加する。子どもたちに、地域を愛する心を養ってもらったためだ。
「わたしのひいおじいさんのころから、ツツジを育ててきた長い伝統がこの地区には残っています。こうした地域活動がずっと続き、古墳に残るツツジも、大室公園へ移ったツツジも、ともに未永く咲き続けてほしいなあ」
農業を営み、自治会の仕事も忙しい。趣味のゴルフや渓流釣りを楽しむ時間も少ないと言つが、地区の歴史を語る顔には、優しい笑みと充実感があふれていた。

学校つうせん 朝の時間を 読書に集中



岩神小学校

岩神小で四月十七日、新年度になつて初めての「読書の時間」が実施されました。時間帯は朝の十五分間、子どもたちの本離れが叫ばれている中で、読書の習慣を身に付けさせることが狙いです。

子どもたちは、自分の読みたい本を自宅から持ってきて来たり、学校の図書館で借りたりして、決められた時間を読書に集中。読む本はさまざま



ですが、イラスト入りの本が人気を集めています。学校全体が静かになるこの時間は、その後の授業にも良い影響を与えているようです。

Pick up ぴっくあつぷ

新規就職者が希望胸に

四月十六日に前橋テルサで新規市内就職者の激励大会が行われました。今年三月に学校を卒業し、市内の事業所で働き始めた若い人たちが事業主たちが参加。萩原市長らが励ましの言葉を贈ると、それにこたえ代表者が「若い力が十分発揮しなが



ら職場で精一杯頑張ります」と、力強く決意を語りました。各事業所へ新風を吹き込んでくれる若者たちの活躍がスタートする季節です。